

3 学期の始まりにあたって



明けましておめでとうございます。

希望を持って新しい年をお迎えのことと思います。今年も聖母の小さな学校は、生徒ひとりひとりの歩みに寄り添いながら導き、自分で自分の道が歩けるように、力をつけていきたいと思います。内容は違いますが、それぞれが学ばなければならないことがあります。ある卒業生は、作文の中で、「聖母の小さな学校で学んだ中で、やるのができにくかったのが、あやまる、ということだった。なぜできにくかったのかというのを考えたら、(人に) 勝ちたい、勝ちたい、と thought た。自分があやまるというのは、負けるのを意味していたからだと思う」と書いています。この生徒は、自分が学校に行けなくなった理由の 1 つとして、「直接的な原因はわからないが、人よりできよう、と thought していたが、できない時の自分がいやで、逃げていて、行けなくなったと思う。そういうのがたまって、6 月 28 日に突然行けなくなった」と、当時を振り返って書いています。

小学 3 年生から不登校だったこの生徒も、中学 3 年から 2 年間、聖母の小さな学校で学び、その後、高校・大学とすすみ、今は社会人として働いています。このように、聖母での様々な学びを通して自分を見つめ、自分の課題をつかみ、自分と人との関係、社会との関係を再構築して、社会的自立を遂げることができるようになります。現在の在校生たちも、2 学期に「いろいろやったこと」を「楽しく感じた」ようで、3 学期も「苦手なことにもチャレンジしたい」とか、「いろんな事をしていくのが楽しみです」と書いています。今年も、聖母の少人数での学校生活が楽しくなること、人の中に平気で出られるようになること、を目標にしたいと思います。

2 月 15 日 (日) に、創立 20 周年記念教育シンポジウムを予定しております。

「伝えたい! 私が生きた不登校 ～不登校をどう理解し、支えるか～」のテーマで、現在不登校で悩んでいる本人や保護者、又、学校関係者に勇気が持ってもらえるようなシンポジウムです。是非、大勢の方々に来場していただきたいと思います。

今年もまた、よろしく願いいたします。

創立 20 周年記念 教育シンポジウム

2009 年 2 月 15 日 (日)
午後 1 時～4 時 20 分
舞鶴市総合文化会館
小ホール